



12

じだいを いかす レムナント

ヘブル
11章 38節

——この世は彼らにふさわしい所ではありませんでした——荒野と山とほら穴と地の穴とをさまよいました。

神様は私たちを、世にはふさわしくない人（世に勝つ人）として呼ばれました。このような私たちに最も必要なことは時代を見ることができることです。

今、強大国はすべてサタンの奴隷になりました。そして、開発途上国と呼ばれる弱小国は、強大国の奴隷になっています。問題は、神様を信じる人々でも、偶像に仕える仕事の奴隷として働いていることです。このようなとき、私たちは祈りから正しく始めなければなりません。そして、私を持っているすべてを神様にささげるといふ考えを持たなければなりません。その中で幼い時から伝道者を助ける人、同労者、家主になるという決断も必要です。すると、神様は伝道者との出会い、伝道者を助けてともに働く重職者との出会い、この祝福をともに味わう友だちとの出会いの祝福を与えてくださるでしょう。

神様が時代を生かすレムナントとして呼ばれたその答えの中で、小さくても神様のみことばに従順な決心をしましょう。神様がくださったみことばに従いながら時代を生かす祈りの証拠を受けるようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。時代を生かすレムナントとしてこの世にふさわしくない者としての証拠を味わい、世界福音化の主役になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いま私が持っていることの中から、なにを神様にささげることができるかパパとママとフォーラムをして書いてみましょう。

1歴代29:14のみことば

まことに、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。このようにみずから進んでささげる力を保っていたとしても。すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをあなたにささげたにすぎません。



Large empty rectangular box for writing notes.



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

Horizontal lines for writing names and preparation materials.



13

かようび

ミッションを みつけよう

使徒

9章 15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

レムナントとして呼ばれた私たちは、神様がそれぞれにくださった神様のミッションは何なのかについて知らなければなりません。それが何よりも重要なことを知って、必ず祈りの中で見つけるべきです。そのためには、いま私のまわりにある、ありふれていると思えることを参考にしなければなりません。家系の背景、親の職業、住んでいる地域だけでなく、私の長所と短所、趣味についてもよく考えてみましょう。さらに、幼い時期から私の傷として根をおろしている痛みも参考にしなければなりません。

祈りの中でこのような部分を福音の目で再解釈するなら、神様はいちばんはじめにみことばをくださいます。そして、神様が直接みことばを成就して、上からの霊的力を与えてくださるでしょう。この力を受けることが本当に重要です。霊的サミットになる道だからです。霊的サミットは技能サミット、文化サミットの道にもつながります。そして、全世界237か国の王たちの前に立って、世の中のあちこちを生かすようになるでしょう。すでに受けていて、これから見つけることになる主役のミッションを今日から発見することを祈って、今日の旅程の一步を始めましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily message.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。幼いときから私にだけくださったミッションを見つけて握り、全世界237か国を生かす主役になる証拠が与えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

下の項目の中で私のミッションについて、いま心に刻みたい1つを見つけて、絵で表現しましょう。下の空いている部分にその理由も書きましょう。

ミッションを見つげるための項目

家庭の背景

親の職業

長所、短所

傷

握ったみことば

握った国

Large dashed-line box for drawing and writing.



Three horizontal yellow bars for writing.



きょうのでんどう

あひと 会う人

Grid area for writing the daily devotion.

じゆんび しりょう 準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



14 インターンシップの しゅくふく

出エジプト 33章 11節

主は、人が自分の友と語るように、顔と顔を合わせてモーセに語られた。モーセが宿営に帰ると、彼の従者でヌンの子ヨシュアという若者が幕屋を離れないでいた。

私たちはレムナントの中でもいま芽が出たばかりの新芽の時期を送っています。この時期に私たちが最も祈るべき内容の一つは、出会いの祝福です。一度も行ったことがない道に行くときには、いつも多くの試行錯誤があります。ですから、私が進みたい分野や専攻の先輩たちに会って、あらかじめインターンシップができるならば、道を歩むために備えることができ、また私の気づいていない部分に関して多くの助けを受けることができます。特に福音を愛して伝える専門家に会ってともにフォーラムができるならば、本当に大きな祝福を味わうことができるのです。

聖書を見れば、サムエルは幼い時期から神殿で、ダビデはお父さんエッサイのお手伝いを通してインターンシップを経験しました。ヤコブとヨセフ、エリヤとオバデヤ、モルデカイとエステルも全員インターンシップを上手にした聖書のモデルです。このことについて祈るレムナントに、神様は使徒2章の15か国の重職者と産業人、ローマ16章の働き人のような世界福音化の主演と合わせてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。世界福音化のために出会いの祝福を祈る私をまことのインターンシップの道に導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

私の教会におられる重職者にはどんな方がいますか。その方たちと出会いの祝福を与えられたら、どのような話を分かち合いたいのか、心にある話を書いてみましょう。

Remnant の
夢は？

教会の重職者 と
出会いの祝福があるよう祈ります

どんな話を
分かち合いたい
ですか



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing notes or preparation materials.



いのちを かける かし

エステル
4章 16節

「行って、シユシヤンにいるエダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとい法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」

まことのいのちを知って実際にいのちを得た人は、正しい献身ができます。その人のことをいのちをかける価値を見た献身者と呼びます。神様は、このような決断をした伝道者であり、献身者であるレムナントに合わせて、いつでも正確な時刻表によって動かされました。それなら、正しい献身は私たちの人生に最も価値あることだと言えるでしょう。

この答えの中で、私たちがこれからはなければならないことが、多くの祝福として準備されています。伝道者を助ける秘密決死隊、また、これから生まれる次世代のためのレムナント・ミニストリー (Remnant Ministry)、そして、地域と世界を生かす神殿建築の主役であるホーリーメイソン (Holy Mason) の祝福です。

このように多くの祝福に先立って、今、私の前にある小さなことを祈りで着実にこなしていきましょう。そして、最も価値あることにいのちをかける献身をするように神様が呼ばれたという事実を覚えて感謝の祈りを始めましょう。



きょうのみことば



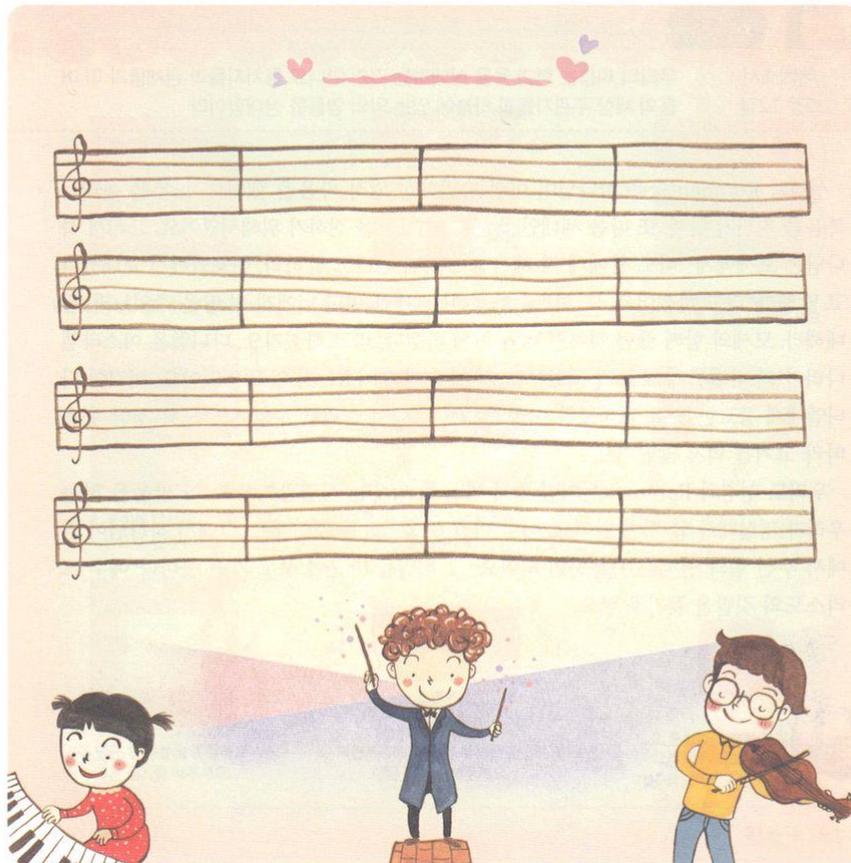
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。まことのいのちを知って持っている者として、世界福音化にいのちをかける献身をする祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

いのちをかける価値が入っている賛美を見つけて、一音一音を歌いながら楽譜を完成させましょう。そして、私がいちばん尊く思うことを神様にささげる祈りをしましょう。



きょうのでんどう

あひと会う人

じゆんびしりょう準備する資料

Blank lined area for notes or preparation.



すでに しょうりした れいてき たたかい

エペソ
5章 12節

わたし たちの かくとうは 血肉 に対する ものではなく、主権、力、この暗やみの世界の
支配者たち、また、天にいる もろもろの 悪霊 に対する ものです。

聖書のレムナントは、神様がすでに勝利された霊的戦いをしました。すべてを生かす福音を守るために、また、次世代にこの福音を伝えるためにでした。それゆえ神様はモーセに「パロ王に血のいけにえをささげに行くといいなさい。主が送られたと言いなさい」と言われました。また、ヨシュアには「わたしはすでにあなたにこの地を与えた。大胆でありなさい。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる」と言われました。ダニエルはイスラエルの国がなぜバビロンの捕虜になったのか、なぜ福音がなくなったのかを知っていました。それゆえダニエルは、心を定めるように導かれました。そして、勝利するしかない定められた心に従って肉を食べなかったのです。

私たちも聖書のレムナントのように霊的戦いをする司令官です。この戦いをする私たちが、心に刻まなければならないことがあります。すでに勝った戦いだということです。ですから、神様が上から与えてくださった力と権威を使えば良いのです。その奥義を心に抱いて、行く先々でイエス・キリストの旗を掲げましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the lesson text.



きょうのいのり

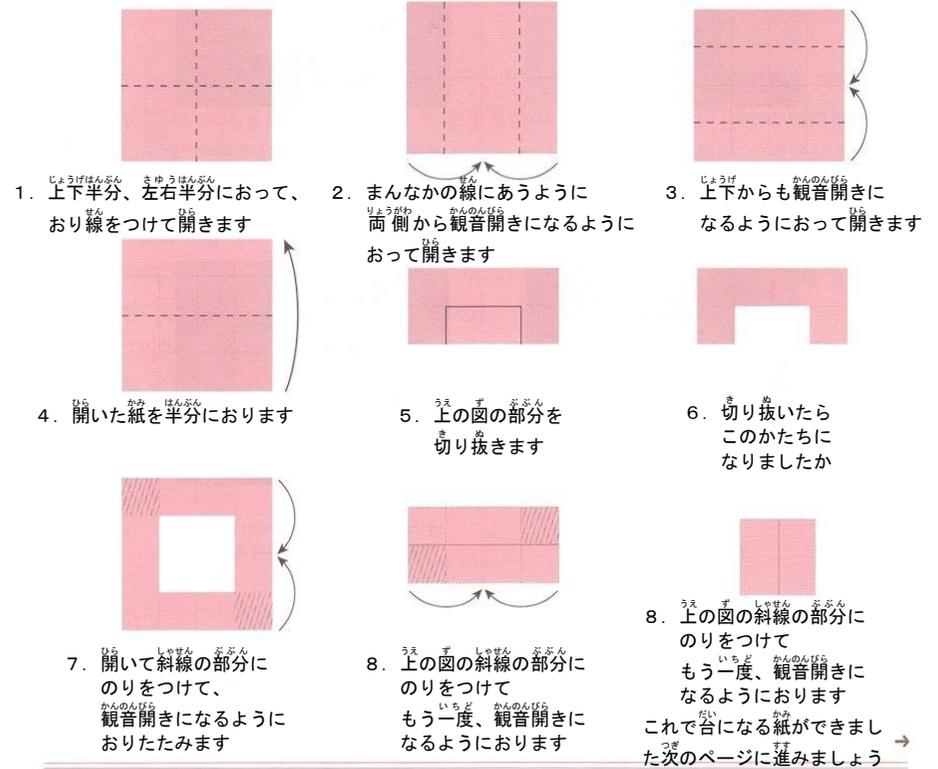
神様、ありがとうございます。すでに勝利した霊的戦いに、キリストの勝利の旗を掲げる世界福音化の主役になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ワーク

すでに勝利した霊的戦いをともにする友だちに、伝道トラクトを作って渡しましょう。神様のみこころを分かち合いましょう。

最後のページの4つの四角を使います。四分分したときに、4つの絵の1つ分の大きさになる紙を用意して、下の図のように折って準備してください



きょうのでんどう

Grid area for writing the lesson text.

あひと 会う人

じゆんぶ 準備する資料

Blank lines for writing the lesson text.

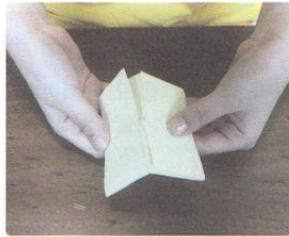
わたしの アイデンティティを わすれないで

II テモテ
1章 5節

私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています。



10. 次のページ4つの絵を1つずつ切り抜きます



11. 土台にする紙が4面出ることを確認します



12. 4面のひとつずつに、10で切り抜いた絵を半分に切っはりつけます



13. 友だちに順序よく説明しながら神様のみこころがなされる霊的戦いに招待しましょう！

レムナントである私たちは、私たち自身が何者なのかを正確に知らなければなりません。最初の人々が神様を離れた後から、この世の神、この世の支配者であるサタンが多くの人を苦しめる世の中になりました。それゆえ、私たちは福音で回復した神の子どものアイデンティティが与えられたということを常に確認して記憶しなければなりません。そのために、まずみことばが整理できる祝福を味わわなければなりません。みことばには背景と流れがあります。それゆえ、正確な福音のみことばを握れば、これからどのようにすべきかについて、とても正確に知ることができます。この内容を込めた祈りを、心に必ず留めているなら霊的サミットに立つようになります。

そうすれば、神様がいつも私とともにおられ（WITH）、私たちの関係の中にもおられ（Immanuel）、すべてのことを働かせて益とされる（Oneness）答えと証拠をくださるでしょう。この事実を説明することが伝道です。今日から確実なアイデンティティの中で、みことばと祈りと伝道を整理して、世界福音化の主役になりましょう。



きょうのみことば

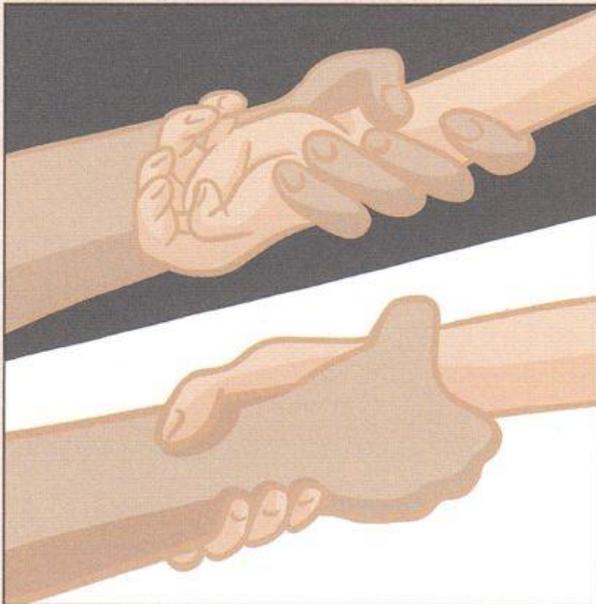
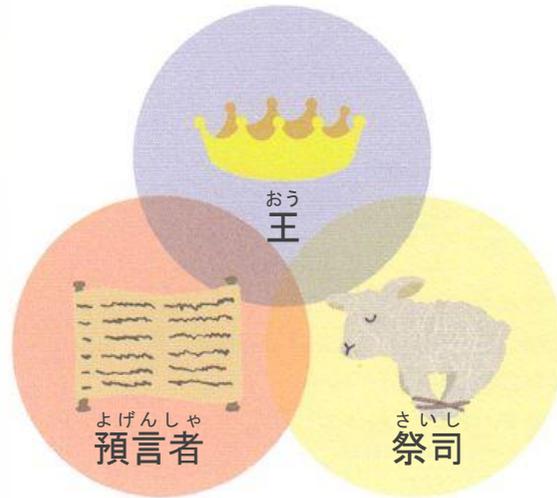


きょうのいのり

神様、ありがとうございます。幼いときから私が誰なのかを正確に知って、世界福音化の祝福を味わえますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いのちの
けいやく
契約のおはなし



うけいれのいの
受け入れの祈り

かみさま わたし つみびと
神様、私は罪人です。いままで
かみさま はな かみさま しん いた
神様から離れて、神様を知らずに生きてきました。
わたし かみさま み が
そのような私をイエス様が身代わりになって
じゅうじか し
十字架につけられて死んでくださり
わたし き
よみがえって、私の主人として来てくださる
ことを信じます。
かみさま のひとり子 イエス様！
わたし かみ こ 子どもにしてください、導いてください。
わたし こころ はい
私の心に入ってください、
この世が与えることができない、まことの平安を
あた
与えてください。
い きておられる イエス・キリストの御名によって
いの
お祈りします。アーメン